

第3期(2014年度)事業報告
2014年4月1日から2015年3月31日

特定非営利活動法人フェア・プラス

(総括)

2014年度は、事務局体制強化による常勤スタッフ3名の体制に基づき、これまで練ってきた構想の実現に向け、事業の本格的な取り組みを行った。特に第4四半期は、主力事業に成長する可能性のある事業に集中して取り組みを行い、来年度に向けての基盤作りを行った。

1. 基盤整備

a. 事務局体制の強化

- b. 2014年3月より、「京都市『人材育成』ソーシャルビジネス等育成事業委託業務」を受託し、2名を1年間の有期雇用職員として雇用。

2. 啓発活動事業

実施日時および会場：2月7日～11日(フィリピン・マリナオ村)、12月3日(梅田スカイビル)、2月21日(ひとまち交流館京都)など

従事者の人数：延べ約300名、対象者：京都造形大学生、作業所職員、および市民、NPO団体、企業の関係者 事業費の金額：965千円

a. フィリピン・マリナオ村へのツアー

2月7日～11日、京都造形芸術大学の学生2名およびグラフィックデザイナーによる、マリナオ村へのツアーを実施。

b. 他団体への協力

- NPO法人トゥギャザー主催「障害者の経済的自立のための底上げ戦略事業」への協力(8/4フォーラム、12/3障害者週間シンポジウム、作業所職員向け連続講座等)
- NPO法人パーキンソン病支援センター主催「難病患者、介護者の孤立防止への交流機会創出事業」への協力(2/21音楽療法体感コンサート等)

c. マリナオ村支援活動の継続

- 義援金に基づくアバカ繊維調達、アバカ製品生産基盤の回復などの支援を行い、2015年2月をもって支援活動を終了。

d. マスコミへの情報発信

4月15日 京都新聞：フェアトレードMAP

4月23日 KBS京都ラジオ；フェアトレードMAP

10月5日 FM京都αステーション：フェア・プラスの活動紹介

2月22日 FM京都αステーション：東山センター入居団体としての活動紹介

3. 作業所製品販売事業

実施日時：通年

実施会場：西陣工房、第三かめおか作業所、京都造形大など

従事者の人数：延べ約200名、

対象者：学生、デザイナー、一般市民 企業関係者など

事業費の金額：1,577千円

a. オリジナル商品の開発

- (1) 西陣工房の西陣織、京組み紐を用いた新商品開発

商品ブランド【AKE：アケ：真緋】の立ち上げ。

品質の高い商品を目指し、ジュエリーアーティストのデザインによる、ブレスレット（糸のじゅえりい）を開発。同時にJIUを紹介するカードセットを製作する。

AKE；日本古来の緋色（明かり、火）の語源『真緋（あけ）』は、日の出の色であり、明日につながる夕陽の色を現すと同時に、人間が手にした文明、火の色であり、熱い情熱を例えた言葉でもある。日本の伝統工芸である西陣織の未来がさらに明るく照らされますようにおの想いを込めて。

(2) 蜜香屋向け安納芋スイーツの開発

蜜香屋（大阪）からの委託に基づき、ベテランパティシエの協力により、オリジナルスイーツ（安納芋のシフォンケーキおよび2種類のパイ）を商品開発する。2014年10月より第三かめおか作業所にて製造し、蜜香屋への供給を行う。

b. ノベルティ商品の販売

(1) NPO 法人トゥギャザー、京都造形芸術大学との連携によるセキスイハウス向けノベルティ商品の開発

NPO 法人トゥギャザーと連携して、京都造形芸術大学にて、全学の学生を対象としたノベルティ商品のデザインコンペを実施。優秀なデザインの試作品をテnderハウスにて製作し、セキスイハウスに提案。2015年度のノベルティとしてセキスイハウスに提供する。

c. イベントへの出展

8月9日、10日 Be 京都（烏丸今出川）

8月30日 紙魚の市（一乗寺恵文社）

9月 NPO 法人トゥギャザー主催の頒布会への参画

9月13日-15日 Be 京都（烏丸今出川）

9月21日 カーフリーデー（JR 二条駅前）

9月23日 アジアンブジャ

9月28日 府庁マルシェ

10月11日～13日 Be-Kyoto 出展

11月29日 「京町家でフェアトレードカフェ」（マクラメ編み講座）開催

4. フェアトレード商品販売事業

実施時期：通年 実施場所：ネパールおよび京都造形大、西陣工房、フェアトレードショップなど

従事者の人数：延べ 約 30名 対象者：学生、デザイナー、一般市民

事業費の金額： 1,173 千円

.....

a. アバカ商品の開発・販売

(1) 商品ブランド【JIU：ジウ：慈雨】の立ち上げ。

服飾デザイナーのアドバイスに基づき、アバカ・マクラメ編みによる、クラッチバックおよびオリジナル手提げバックの商品開発を行う。同時に JIU を紹介するカードセットを製作する。

JIU：恵みの雨を意味する慈雨（ジウ）。豊かな恵みの雨と緑豊かな大地で生まれたアバカの樹は、人と自然の共生の象徴。フェア・プラスと生み出すアバカ・クラフト製品がマリナオ村の人々にとって、潤いをもたらす恵みの雨のような存在になりますようにとの願

いを込めて。

(2) 関西のフェアトレードショップへのアバカ・クラフト商品の販売活動

関西のフェアトレードショップへアバカ・オリジナルクラフトの紹介・販売活動を実施。

クラフトショップ2店舗（和望、あろあろ）、およびフェアトレードショップ3店舗（マーシュ、ファームハウス、ハリーナ）と委託取引を実現する。

(3) 京都造形芸術大学とのアバカ商品開発

京都造形芸術大学の学生チーム「D by D」が、2月にフィリピン・マリナオ村へのツアー等を実施。

b. ネパール・フェアトレード商品の開発

服飾デザイナーと進めてきたネパールのフェアトレード商品の開発は、ネパールの生産技術にいくつかの課題があることが明らかとなり、当面取り組みを保留することとした。

以上